

リオ・パラリンピック 閉幕

金ゼロもメダル数は大幅に増加

12日間にわたり繰り広げられた障害者スポーツの祭典、リオ・パラリンピックが閉幕した。

日本選手団の獲得メダル数は、金0個、銀10個、銅14個の計24個。20年東京大会を見据え、「金10個」という目標を掲げて臨んだにもかかわらず、夏季大会では初となる「金・ゼロ」という結果に終わった。

とは言え、総メダル数は前回のロンドン大会から1.5倍に増加(16↓24)。日本選手の実力が世界でもトップレベルであるものの、後一步のところで頂点を逃したことが今大会の結果に出てしまったと言える。

視覚障害選手の活躍

以下、メダリストを中心に、視覚障害選手が出場した競技の結果を振り返る。

◆陸上競技

今大会から採用された女子マラソンで、道下美里選手が銀メダルを獲得(3時間6分52秒)。男子マラソンでは、岡

村正広選手が銅(2時間33分59秒)、堀越信司選手が4位、和田伸也選手が5位。

◆ゴールボール女子

2連覇を目指した日本女子チームは、予選リーグを3位で通過。決勝トーナメントの準々決勝で中国に逆転負け。最終順位は5位。

◆柔道

廣瀬誠選手(60キログ級)が銀メダル。前回大会の覇者・正木健人選手(100キログ級)と、2大会ぶりに出場した藤本聰選手(66キログ級)は銅。また、廣瀬順子選手(57キログ級)も銅を獲得。柔道女子初のメダリストになった。

◆水泳

金メダルを期待されていた木村敬一選手は、出場5種目中、4種目でメダルを獲得(銀2、銅2)。女子では、小野智華子選手が100メートル背泳ぎで8位に入った。

◆自転車

鹿沼由理恵選手と田中まい選手(パイロット)が、タンデム個人ロードタイムトライアルで銀メダル。女子の自転車競技では初となるメダルを獲得した。

◆トライアスロン

今大会から正式種目になったトライアスロンでは、山田敦子選手が9位に入った。

視覚障害以外でも、車いすラグビーとボッチャがそれぞれ初めてのメダルとなる銅と銀を手にするなど、連日、日本人選手の活躍が見られた。

東京に向けて

パラリンピックにおいて、メディアの果たす役割は大きい。その魅力をいかに人々に届けるかが、パラリンピックの成否を左右すると言えるだろう。

東京大会の目標は、金22個、金メダルランキング7位。この目標を達成するには選手の努力だけでなく、オーストラリアでの取り組みが必要だ。

同行援護なら、音友(おんゆう)へ

音友は、見えない・見えにくい人びとの外出を支援します。ヘルパーの養成・研修も行います。

電話 06(4801)0171 HP <http://eye-eye.jp>

新聞音訳ボランティア研修講座

JBS日本福祉放送が主催する「新聞音訳ボランティア研修講座」を開催します。

講座は全12回、主な会場はグランフロント大阪の北館にある「ナレッジサロン」です。また、受講料は無料です。

参加希望の方は、JBS日本福祉放送まで。

講座の内容(11月開始予定)

第1回

JBSについて、発声の基本、腹式呼吸

第2回

音訳と朗読(ピッチ、フレーズ等)、

目の代わり

第3回

発声・調音と長音、鼻濁音、母音の無声化

第4回

アクセント、滑舌「あめんぼ」

第5回

新聞音訳に於ける読み、意味の伝わる読み

第6回

文字以外の情報の伝え方、

写真、図表、符号類

第7回

新聞の見方(紙面構成など)

第8回

読む速さと時間調整、放送の進行

第9回

調べ方(漢字 固有名詞)、本番中の対処方法

第10回

記事の選び方と時間配分

第11回

新聞音訳 実習①

第12回

新聞音訳 実習②

JBSの聴き方

- 1) インターネット・ラジオ (<http://www.jbs.or.jp>)
- 2) ケーブル・システム (USEN440 K-08CH)
- 3) 衛星放送 (CS「サウンドプラネット」 K-08CH)

* 2)、3)をご希望の方は、JBS日本福祉放送までご連絡ください。障害者手帳をお持ちの方は割引が受けられます。



平成28年度全視情協大会(熊本大会)

10月20日(木)～21日(金)、熊本市で「第42回全国視覚障害者情報提供施設大会」が開催される。JBSでは、同大会の模様を収録し、後日、放送予定。

同大会の主な内容は、以下の通り。

第1分科会

1. 災害時に即応できる平時の情報提供を考える
2. 視覚障害者と情報提供施設・団体の未来

第2分科会

1. 点訳ボランティア養成カリキュラムについて
2. グラフィックデータの製作に関する基準

について(報告)

第3分科会

1. 製作基準と音訳ボランティア養成カリキュラム
2. 録音図書の質の向上に向けて

3. シネマ・デイジーの現状報告と今後の展開

について

全体会1

災害時、被災者への情報提供支援をどのように行うべきか

全体会2

分科会報告、専門委員会報告、ほか

消費生活あどばいっち



竹田 幸代

第8回「トマトでうま味をプラス！」

JBSの番組「らくらく生活」で紹介した、トマトを一個まるごと炊飯器に入れる「トマトごはん」。トマトの酸味を感じない和風のお上品なご飯になった、アサリを加えると和風のアサリご飯になった、などなど、私のまわりでもちょっとした話題になっています。

さて、どうしてトマトを入れることで和風だしを入れたようなおいしさになるのか。

トマトには、グルタミン酸とアスパラギン酸というアミノ酸系のうま味成分が豊富に含まれています。グルタミン酸と言えば、昆布だしに多く含まれるうま味成分ですね。

うま味とは、人の味覚である甘味・塩味・酸味・苦味に次ぐ第5の味覚で、日本人が発見した、おいしさを感じる味覚のこと。

そのうま味成分は、次の三つに分類されます。一つ目は、アミノ酸系。トマトのグルタミン酸がその一つ。二つ目は核酸系。鯉節に代表されるイノシン酸や干し椎茸のグアニル酸なんかがありますね。三つ目は有機酸系。貝類に多いコハク酸などがあります。

アミノ酸系に核酸系などが加わると、相乗効果でうま味が何倍にもアップすることは知ら

れていますね。

といつても、トマトの旬は過ぎてしまったので、これからの季節はトマトの濃縮、トマトケチャップで代用してもOK。少量加えると同じ効果が得られますよ。

今日の味付け、なんとなく一味足りないなど思ったとき、ほんの少し加えると味わいが増すかも。ぜひ試して、実感してみてくださいね。

*「うま味」は、1908年、東京帝国大学の池田菊苗博士が発見。昆布だしの主成分がグルタミン酸だということをつきとめ、その味を「うま味」と名づけた。

ただ ゆきよ 消費生活アドバイザー。社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センターサービスマン勤務。きんぎょビジョンサポート(KVS)代表。



音訳ノート

渡辺典子

第8回 アクセント

JBSのスタジオは大阪にあるので、音訳ボランティアのほとんどが関西人。全国放送なので共通語のアクセントには苦労しています。「飴」と「雨」はアクセントで聞き分けられます。「ア」と「メ」という二つの音に意味を持たせるのです。耳で読むリスナーにとつては、内容の理解に関わるとても大切なことなのです。

日本語は高低アクセントなので、単語のどこで音を下げるといふことに気をつけます。次の四つの型があります。

①頭高(あたままだか)型

一拍目が高く、二拍目から下がる。例 みどり、ほたる

②中高(なかだか)型

一拍目が低く、二拍目から高くなり、また低くなる。単語の中程が高い。例 ひこうき、みずうみ

③尾高(おだか)型

最後の拍まで高く、助詞は低くつく。例 おと(が)、いもうと(に)

④平板(へいばん)型

二拍目から最後まで高く、助詞は同じ高さでつく。例 さくら(が)、とけい(を)

なお、共通語のアクセントには一拍目と二拍目は必ず音の高さの違いがあり、また、一つの単語の中で一度下がった音はその単語の上がることはないという特長があります。

関西出身のNHKアナウンサーに共通語アクセント習得のコツを聞くと、「ありません」の一言。放送の時は「構える」ことです。アクセントの勉強で辞書一冊をポロポロにしたという話も聞きました。ムズカシイコトナノデス。

わたなべのりこ 音訳歴40年以上の現役ボランティア。各地で後進の指導・育成にあたる。

JBS日本福祉放送 主な番組案内

* = オンデマンドでも放送。

番組名	曜日	時間
第17回日本ロービジョン学会学術総会 *		10月中旬に放送予定
大阪水没の危険にどう立ち向かうか ~ 防災と減災の知識と備え *		10月中旬に放送予定
今日の新聞 朝刊	月~日	10:00-12:00
今日の新聞 夕刊	月~土	16:30-18:00
新刊ラジオ	月~日	19:00-19:30
IT情報アップデート	月~日	9:30-10:00
らくらく生活 *	月~日	20:30-21:00
心のうた *	第1・3週 月~日	8:00-8:30
JBSインフォ・ボックス	月~金	12:00-12:15

 インフォ・ボックス

◆サイトワールド2016

視覚障害者向け総合イベント。11月1日(火)~3日(木・祝)の10~17時(最終日は16時まで)、墨田区のすみだ産業会館サンライズホールで。入場無料。サイトワールド実行委員会 ☎03-5292-5644

◆第4回日盲連フェスティバル

日本盲人福祉センターを一般開放して行うイベント。10月15日(土)の10~16時。入場無料。日本盲人会連合 ☎03-3200-0011

音訳ボランティア、始めませんか！

JBS日本福祉放送では、新聞音訳ボランティアを募集しています。

ご興味のある方は、電話予約のうえ、スタジオ見学にお越しください。

電話 06(4801)7400

編集後記 今月号でご案内していますが、新聞音訳ボランティア対象の講座を開催します。すでに活動されている方だけでなく、これから音訳を始めてみたいという方も受講していただけます。周りの方々にもお声をかけていただければ幸いです。

JBS通信 2016年10月号 No.29
発行日 2016年9月30日
発行所 JBS日本福祉放送
(社会福祉法人視覚障害者文化振興協会)
住所 〒534-0026 大阪市都島区網島町4番12号
電話 06(4801)7400
ファックス 06(4801)7401
URL <http://www.jbs.or.jp>

発行者 川越利信 企画・編集 川越利信
金田直樹/レイアウト 佐藤庸子
定価 1部50円

番組紹介

★「新刊ラジオ」 放送予定

10月3日 『1億総バツタ時代』

10月10日 『無国籍の日本人』

10月17日 『山田真哉氏×正田圭氏対談 音声 15歳で起業したほうが社長になって学んだこと』

10月24日 『やり直し・差し戻しをなくす できる人の準備力』

10月31日 『入社1年目から差がついていた！仕事ができる人の「集中する習慣とコツ』』

★「心のうた」 放送予定

10月3日 「こんにちは赤ちゃん」

10月17日 「遠くへ行きたい」

♪ガイドヘルパー養成研修のご案内♪

次回の同行援護従業者養成研修は、来年3月に実施します。

【一般】3月18日(土)、19日(日)、20日(祝)

【応用】3月25日(土)、26日(日)

会場 福島区民センター

定員 各15名

問合せ 音友(おんゆう) 担当 森尾

電話 06(4801)0171 HP <http://eye-eye.jp>